

博士前期課程(修士) / 共通科目 / 共通科目
目コード:200003

データ分析方法論 Data Analysis for Nursing Research

担当教員	米田昌代 木田亮平				
実務経験					
開講年次	1年後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	◎	(2)	○	(3)
Keywords	量的研究、質的研究				
学習目的・目標	学習目的: 看護研究を行う上でのデータ処理の考え方や手法について教授する。 学習目標: 1. 量的研究における分析の考え方と主な分析手法が理解できる。 2. 質的研究における分析の考え方と主な分析手法が理解できる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	研究方法論における量的研究の位置づけ			講義	木田
2	研究デザインと量的研究の基礎: (1)尺度 (2)変数 (3)記述統計 (4)誤差とバイアス			講義	木田
3~4	統計解析①:群間比較と相関			講義	木田
5~6	統計解析②:多変量解析			講義	木田
7	統計解析③:因子分析と主成分分析			講義	木田
8	研究方法の選択			討論	木田
	質的研究における分析の考え方と分析手法 ・質的研究の分析プロセスの特徴 ・分析する上での注意点・倫理的課題 ・グループでの分析の大切さと方法 ・各研究プロセスで注意すべきことと手順 ・コーディング・カテゴリー化の手順			講義・演習・討論	米田
12~14	逐語録の読み方の実際 コーディング・カテゴリー化の実際			討論・講義・演習	米田
15	質的データ分析の厳密性 質的データ分析のスーパービジョンの受け方 質的データを用いた研究のまとめ方 ・論文執筆 ・プレゼンテーション			討論・講義・演習	米田
教科書					
参考図書等	1. 中山和弘:看護学のための多変量解析入門, 医学書院, 2023 2. 早川和生:看護研究の進め方 論文の書き方第2版, 医学書院, 2023 3. グレック美鈴他:質的研究の進め方・まとめ方 質的研究のエキスパートをめざして, 医歯薬出版株式会社, 2007 4. 萱間真美:質的研究実践ノート 研究プロセスを進めるclueとポイント, 医学書院, 2007				
評価方法・基準	授業への参加状況(30%)とプレゼンテーションおよびその資料もしくはレポート(70%) 各教員の講義回数に応じて配点する。				
関連科目	看護研究				
教員から学生へのメッセージ	量的・質的研究の具体的方法について学び、各自の研究テーマに適した方法が選択でき、手法が活用できるように学んでいきましょう。				